

×整理番号	
×審査結果	
×受理年月日	年 月 日
×認定番号	

## 保安機関認定更新申請書（記入例）

年 月 日

新潟県知事 殿

〒950-8570

住所

新潟市中央区新光町 4 番地 1

氏名又は名称及び  
法人にあっては  
その代表者の氏名

高圧ガス保安株式会社  
代表取締役 高圧 太郎

電話 025-282-1666

液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第 32 条第 1 項の更新の認定を受けたいので、次のとおり申請します。

### 1 保安業務に係る事業所の名称及び所在地

高圧ガス保安（株）新潟支部  
新潟市中央区新光町 4 番地 1

### 2 更新を受けようとする保安業務区分

保安業務区分	更新を受けようとするものに○をつける
1 供給開始時点検・調査	
2 容器交換時等供給設備点検	○
3 定期供給設備点検	○
4 定期消費設備調査	○
5 周知	○
6 緊急時対応	○
7 緊急時連絡	

（備考）×印の項は記載しないこと。

保安業務計画書（記入例）

事業所の名称 高圧ガス保安（株）新潟支部 電話 025-282-1666  
 〒950-8570  
 事業所の所在地 新潟市中央区新光町 4 番地 1 FAX 025-282-1667

保安業務区分	供給開始時 点検・調査	容器交換時 等供給設備 点検	定期供給 設備点検	定期消費 設備調査	周知	緊急時対応	緊急時連絡	
一般消費者等の数	—	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	—	
保安業務資格者の数	液化石油ガス設備士又は第二種販売主任者 2人 製造保安責任者 人 その他 人							
調査員の数	0							
保安業務資格者及び調査員以外の者であって保安業務に従事する者	0							
年間実働日数又は平均月間実働日数	22 日/月 260 日/年 260 日/年							
保安業務用機器	自記圧力計						1 個	
	マノメータ						1 個	
	ガス検知器						1 個	
	漏えい検知液						1 個	
	緊急工具類						1 セット	
	一酸化炭素測定器						1 個	
	ボーリングバー						1 個	
緊急時対応を行う場合にあってはその方法	出動するための手段： <input checked="" type="checkbox"/> 車 <input type="checkbox"/> オートバイ <input type="checkbox"/> その他（ ） 緊急時の連絡の受信方法： <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> その他（ ） 集中監視システムの有無： <input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し							

- （備考） 1 事業所ごとに記載すること。  
 2 表中の「□」には、該当する項目にレ点を記入すること。その他に該当する場合は、その内容を具体的に記載すること。

保安業務技術的能力算定書（記入例）

1 保安業務資格者の算定

A：保安業務区分ごとの一般消費者等の数   
 B：月間実働日数   
 C：年間実働日数  
D：調査員数   
 E：充てん作業数

保安業務区分	算定式	算定値	備考
1 供給開始時点検・調査	$\frac{A}{20,000}$	—	
2 容器交換時等供給設備点検	$1,000 \times \frac{1}{100} \times \frac{1}{B} - D - E$ B: 22	0.455	0未満の場合は0とする
3 定期供給設備点検及び4 定期消費設備調査 ※いずれか該当する式で計算すること	3と4の両方 $1,000 \times \frac{1}{20} \times \frac{1}{C} \times \frac{1}{4}$ C: 260	0.049	補助員を伴って点検及び調査を行う場合は、20を三分の四倍することができる。
	3のみ $\frac{A}{30} \times \frac{1}{C} \times \frac{1}{4} - E$	—	補助員を伴って点検を行う場合は、30を三分の四倍することができる。
	4のみ $\frac{A}{25} \times \frac{1}{C} \times \frac{1}{4}$	—	補助員を伴って調査を行う場合は、25を三分の四倍することができる。
5 周知 ※上段か下段のいずれか該当する式で計算すること	$1,000 \times \frac{1}{40,000}$ ※2 容器交換時点検・3 定期供給設備点検・4 定期消費設備調査のいずれかを行う場合	0.025	
	$\frac{A}{20,000}$ ※上段の場合以外	—	
6 緊急時対応	$1,000 \times \frac{1}{20,000}$	0.050	
7 緊急時連絡 ※上段か下段のいずれか該当する式で計算すること	$\frac{A}{20,000}$ ※消費者戸数が 20,000 戸以下の場合	—	
	$1 + \frac{A - 20,000}{80,000}$ ※消費者戸数が 20,000 戸を超える場合	—	
合計		0.579	
必要人数		1 名	合計値の小数点以下を切り上げて記入すること

## 2 保安業務用機器の算定

□A: 保安業務区分ごとの一般消費者等の数      □B: 月間実働日数      □C: 年間実働日数

### (1) 保安業務用機器の算定値

保安業務区分	算定式	算定値	備考
1 供給開始時 点検・調査	$\square A \times \frac{1}{20,000}$	□イ —	
2 容器交換時等 供給設備点検	$\square A \times \frac{1}{100} \times \frac{1}{\square B \ 22}$	□ロ <b>0.455</b>	
3 定期供給 設備点検及 び4 定期消 費設備調査	3と4 の両方 $\square A \times \frac{1}{20} \times \frac{1}{\square C \ 260} \times \frac{1}{4}$	□ハ <b>0.049</b>	補助員を伴って点検及び調査 を行う場合は、20及び25を三 分の四倍することができる。
	$\square A \times \frac{1}{25} \times \frac{1}{\square C \ 260} \times \frac{1}{4}$	□ニ <b>0.039</b>	
※いずれか 該当する 式で計算 すること	3のみ $\square A \times \frac{1}{30} \times \frac{1}{\square C} \times \frac{1}{4}$	□ホ —	補助員を伴って点検を行う場 合は、30を三分の四倍するこ とができる。
	4のみ $\square A \times \frac{1}{25} \times \frac{1}{\square C} \times \frac{1}{4}$	□ヘ —	補助員を伴って調査を行う場 合は、25を三分の四倍するこ とができる。
6 緊急時対応	$\square A \times \frac{1}{20,000}$	□ト <b>0.050</b>	

### (2) 保安業務用機器数

機器名	□イ	□ロ	□ハ	□ニ	□ホ	□ヘ	□ト	算定値合計	必要数
自記圧力計又は マノメータ	—	/	<b>0.049</b>	/	—	—	<b>0.050</b>	<b>0.099</b>	<b>1</b>
ガス検知器	—	/	<b>0.049</b>	/	—	—	<b>0.050</b>	<b>0.099</b>	<b>1</b>
漏えい検知液	—	<b>0.455</b>	<b>0.049</b>	/	—	—	<b>0.050</b>	<b>0.554</b>	<b>1</b>
緊急工具類	—	<b>0.455</b>	<b>0.049</b>	/	—	—	<b>0.050</b>	<b>0.554</b>	<b>1</b>
一酸化炭素測定器	—	/	/	<b>0.039</b>	/	—	<b>0.050</b>	<b>0.089</b>	<b>1</b>
ボーリングバー	—	/	<b>0.049</b>	/	—	—	<b>0.050</b>	<b>0.099</b>	<b>1</b>

※必要数欄は、各保安業務用機器の算定値合計の小数点以下を切り上げて記入すること。